

授業科目

臨床実習I

担当教員名 臨床技術学科全教員	対象学年	4	対象学科	臨床
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	4	時間数	180

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	◎	○

授業の概要

- 血液浄化療法業務の基本的な装置操作・管理法と患者管理法を理解する。
- 人工心肺業務の基本的な装置操作・管理法を理解する。
- 心臓カテーテル業務の基本的な装置操作・管理法を理解する。
- 手術室業務を理解する。
- I C U・C C U及び救命救急センター業務を理解する。
- 人工呼吸療法業務の基本的な装置操作・管理法と患者管理法を理解する。
- 内視鏡業務を理解する。
- 各種医療機器の保守点検業務を理解する。

授業の目的

臨床技術者として臨床工学技士の行う業務等について臨床現場の見学実習により、学内で学んだことを再認識すると同時に実際の技術を習得する。またチーム医療における臨床技術者としての役割と、関連他職種との関わりについて理解する。

学習目標

- 血液浄化療法業務の基本的な装置操作・管理法と患者管理法の概要を説明できる。
- 人工心肺業務の基本的な装置操作・管理法の概要を説明できる。
- 心臓カテーテル業務の基本的な装置操作・管理法の概要を説明できる。
- 手術室業務の概要を説明できる。
- I C U・C C U及び救命救急センター業務の概要を説明できる。
- 人工呼吸療法業務の基本的な装置操作・管理法と患者管理法の概要を説明できる。
- 内視鏡業務の概要を説明できる。
- 各種医療機器の保守点検業務の概要を説明できる。

授業計画

授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考
血液浄化療法業務の実際	臨床実習
人工心肺業務の実際	臨床実習
心臓カテーテル業務の実際	臨床実習
手術室業務の実際	臨床実習
I C U・C C U救命救急センター業務の実際	臨床実習
人工呼吸療法業務の実際	臨床実習
内視鏡業務の実際	臨床実習
医療機器保守点検業務の実際	臨床実習

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	臨床実習ガイドブックを配布する。					

評価方法

臨床実習生評価報告書にて評価する。

履修上の留意点

臨床実習は、医療の現場で先輩の臨床工学技士がどのように医療と関わっているかを知ることが第一目的であるから、真摯な態度で実習に取り組んで欲しい。

オフィスアワー・連絡先

初回で各教員から連絡します。